

平成 26年 12月24日

## サイエンス・ダイアログ 実施報告書

1. 学校名・担当者氏名: 静岡県立磐田南高校 教諭 鈴木 敦士
2. 講師氏名: Richard E.VEALE
3. 同行者氏名: なし
4. 実施日時: 平成 26年 12月 17日 (水) 13:00 ~ 15:00
5. 参加生徒: 2年生 42人 (合計 42人)  
備考: 理数科の生徒
6. 講演題目: (英文) Application of Saliency Map to the Analysis of Visual Search  
(和文) 視覚的注意の再建を目的とした神経補綴システムのプロトタイプ構築
7. 講演概要: 人間の目の動きには、経験的なものからくるものと、サリアンシー・マップを構築することによるプロセスがある。後者の場合に関して、パソコンを使って理解することが可能であり、それはロボットへと応用される可能性がある。
8. 使用言語: 英語
9. 講演形式:
  - (1) 講演時間 100分 質疑応答時間 20分
  - (2) 講演方法 (例: プロジェクター使用による講演、実験・実習の有無など)  
プロジェクター使用による講演、実際の目の動きをパソコンで見せた。
  - (3) 通訳 (例: 同行者によるサポート、外国人研究者本人による日本語説明)  
なし。ただし、講義終了後には、流暢に日本語での解説をしていただいた。
  - (4) 事前学習時使用教材(事前学習を行った場合のみ)  
講師から紹介のあった論文を読ませ、専門用語や講義内のキーワードを事前に確認した。
10. 学校からの支給経費(該当がある場合): 交通費 宿泊費 謝金  
なし
11. その他特筆すべき事項: なし